

豊岡市教育研修センターだより



豊岡市教育委員会 R2.8.3

No.4

豊岡市のホームページにもアップしています

豊岡市 HP→左中段「⇒教育委員会」→「⇒教育研修センター」からご覧いただけます

7月も各種委員会や研修会が開催されました。多忙な中での開催となりましたが、子どもたちのことを語る先生方からは、例年とは違う「子どもたちの様子」が聞こえてきました。

特別支援教育コーディネーター研修会（7月16日）

富山佐智恵こども育成課指導主事からは、「先生が子どもをどう見るか」「子どもへの気づき」が最も大事」「子どもや保護者に寄り添うこと」について、具体的事例を交えてお話しいただきました。兒島源之特別支援教育コーディネーターからは「コーディネーターの動き」「こども支援センターの役目」について、実際の連携をもとにお話しいただきました。竹村和代特別支援教育アドバイザーからは、「学習に向かうためのレディネス（聴覚的認知能力、手と目の協応、読みの難しさ）」についてお話がありました。各校で、コーディネーターの先生方が学校の中心となって特別支援教育の充実に向けて取り組んでいただいています。管理職の先生方のさらなるご支援で、子どもたち一人一人に必要な支援が確実に届きますようよろしくお願いいたします。

不登校担当者研修会（7月20日）

今年度第1回目の不登校担当者研修会が開催されました。兵庫県立但馬やまびこの郷から、加藤義弘指導課長をお迎えして、講義を受けました。不登校児童生徒数は平成27年から平成30年にかけて1.5倍になっていることや、学校と保護者で不登校となったきっかけの「とらえ」に違いがあることなどについて説明がありました。また、不登校の初期対応について学校全体としての取組方針が重要であるとのことご指摘もありました。

講義後、短い時間でしたが、中学校区ごとに情報交換会を行いました。3密を避けながらも、終了時刻をオーバーするほど情報交換がなされていました。研修会后、「情報交換ができてよかった。」という感想が多くありました。例年と異なる夏を迎えています。先生方には、いつも以上に神経を使い、子どもの様子の把握をしていただいています。保護者から情報をもらいながら、不登校の未然防止と早期対応の取組が続きます。



☆【GIGA スクール構想の実現に向けて】☆

1人1台の端末や高速大容量の通信ネットワークが整備され、ICTによる個別最適化された学びが現実味を帯びてきました。今まで培ってきた私たちの教育実践とうまく組み合わせることで、学校ならではの「協働的な学び」と「主体的な学び」がさらに充実した形で、子どもたちに提供できるのではないかと期待しています。8月以降、数回にわたり「ICTの学びへの活用に係る情報教育研修会」を計画しています。子どもたちの学びを最大限保障するため、豊岡市情報教育推進委員会と連携して、ICTの学びへの活用を推進していきます。